

参考資料

令和2年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
病 院 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【病院事業会計】

区分	令和2年度	令和元年度	伸び率
予算総額	72,594,172千円	70,788,224千円	2.6%
収益的支出	64,172,302千円	62,893,596千円	2.0%
資本的支出	8,421,870千円	7,894,628千円	6.7%

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 県立病院における診療体制の強化

P 1	小児移植医療の充実	76,164
P 1	先進的がん医療の提供	1,139,286
P 1	県立4病院の地方独立行政法人化の準備	759,956

県立病院の機能拡充

担当 経営管理課 企画担当 内線 5984
 県立病院法人準備担当 内線 5966

1 目的

質の高い高度専門医療を提供し、地域との連携により地域医療を支援する。

2 事業内容

(1) 小児移植医療の充実

76,164千円

小児医療センターにおいて、さいたま赤十字病院との連携により、小児生体肝移植を本格的に実施する。

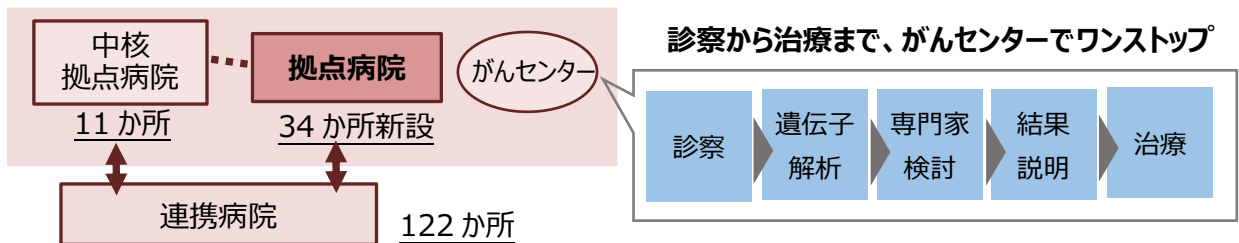


(2) 先進的がん医療の提供

1,139,286千円

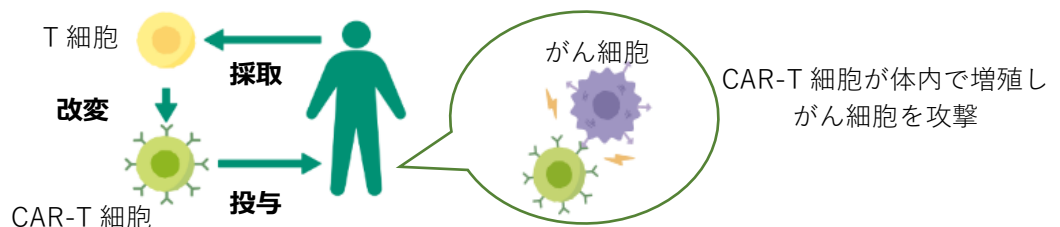
① がんセンターにおいて、「がんゲノム医療」をワンストップで対応

がんの原因となる遺伝子を調べ、遺伝子変異に合った最適な治療をがんセンター内で完結して提供する。



② 小児医療センターにおいて、「CAR-T細胞療法」を提供

難治性の血液がん患者に、県内で唯一認定された医療施設として、遺伝子改変技術を利用したがん免疫療法を提供する。



(3) 県立4病院の地方独立行政法人化の準備

759,956千円

令和3年度の地方独立行政法人化に向けて、中期目標の設定や独自システムの調達、評価委員会の設置などの準備を進める。